



今野 博之さん
(40歳)



野呂 典嗣さん
(25歳)



市町村
道内で地域おこし
協力隊を導入した

71%

※平成28年度(総務省)

5/1に着任した、厚田の新しい仲間です 地域おこし協力隊

少子高齢化や人口減少という社会的な背景を踏まえ、市では平成26年から「地域おこし協力隊」の取り組みを行っています。都市部の人材を過疎地域などに受け入れ、地域おこしの新たな担い手になってもらうというもので、5/1から2人の新隊員が厚田区に着任しました。

野呂 典嗣さんは釧路生まれの札幌育ち。大学在学中にテレビ局のアシスタントディレクターを経験したり、平成27年には縁あって「えりすいしかりネットテレビ」のスタッフとして活動するなど、情報発信を得意とする野呂さんは「えりす時代に何度か厚田を訪れていますが、まだまだ知らないことばかり」と言い、「これから厚田についていろんなことを学び、特に食べ歩きが好きな僕と

してはその方面からも、厚田の魅力を伝えていきたいです」と抱負を語ります。

今野 博之さんは札幌生まれですが、「学生時代はずっと石狩で過ごしました」という石狩っ子。花川北中学校時代は吹奏楽部に所属し、高校のとき入った合唱部がきっかけでオペラ歌手になるという異色の経歴の持ち主です。また平成27年から2年間、帯広市の病院に勤め、企画や広報を担当した経験も持ち、「厚田区で地域おこし協力隊を募集していると知り、文化の面でなにか私にもお手伝いできれば」とこのたび隊員に志願しました。「オペラ歌手時代にできた人脈や、病院で得た知識や経験を生かしながら、厚田地域の活性化に一役買いたいです」。